

# さんさん新聞

2019年  
9月17日  
火曜日

発行所  
山陽病院  
認知症サポート  
チーム (DST)

## お楽しみ会で「琴祭り」を開催

9月21日(土)の「お楽しみ会」に琴ボランティア 菊津真きくつ(ま)杜中」が来られる。外部ボランティアに協力してもらうのは今回初めての取り組み。曲は思わず口ずさむことができるようななじみのある曲を予定している。本場の琴の音色を聴くことによって、入院患者の気持ちも少しでも明るくなってくれることを期待する。

- 予定曲
- ・もみじのワルツ
  - ・星将富床
  - ・お知床
  - ・お知床
  - ・お知床
  - ・お知床
  - ・お知床



琴祭り (イメージ)

※「お楽しみ会」は第1・3土曜日、第2・4金曜日の12時45分から行なっている。

## 病棟レクリエーションの効果

レクリエーションは、主に介護施設や福祉施設で行われていたが、近年病棟でも取り入れられている。レクリエーションには、離床時間の確保による生活リズムの構築や身体機能と認知機能の維持と向上に加えて、うつ症状の軽減やquality of life (QOL)の改善が認められることが報告されている(Spector et al., 2003)。今後は当院の「お楽しみ会」や「さんさん倶楽部」でもその効果があるか実証していく必要があるだろう。



お楽しみ会でカーブ体操に取り組み病棟患者



さんさん倶楽部で計算問題に挑戦する病棟患者

出典

Spector A, Theorantou L, Kozak B, Rogan L, Davies S, Birtworth M, et al (2003). Efficacy of an evidence-based cognitive stimulation therapy programme for people with dementia: randomised controlled trial. Br J Psychiatry, 183, 286-94.

## 認知症サポートチームによる認知症勉強会のお知らせ


認知症サポートチームは積極的に認知症の研修会に参加している。外部研修で得られた知識を当院にも提供することを旨とし、勉強会を開催する。皆さまにもぜひご参加いただきたい。

### 近日開催する勉強会

「認知症の特徴を理解しよう」  
日時：9月27日(金) 17:40～  
場所：山陽病院2階会議室  
講師：4階病棟看護師 中原彩さん



「認知機能やその検査について知ろう！  
～患者さんをより理解するために～」  
日時：10月3日(木) 17:40～  
場所：山陽病院5階会議室  
講師：公認心理師 佐野ひかりさん



「ユマニチュードを学ぼう 入門編」  
日時：10月19日(土) 10月23日(水)  
13:00～14:00 17:40～18:40  
(すべての回、同じ内容です)  
場所：山陽病院5階会議室  
講師：3階病棟看護師 館原三代子さん 檀上知沙さん



## Good認知症対応記録の紹介

認知症対応の記録で素晴らしいものがあつたので紹介する。K看護師による記録：「「虫がおる」と時々話す。心配ない旨を伝えると安心してた。つじつまが合わないこともたまに話されるが表情穏やかに過ごされる」。幻視に対する適切な対応をされている。幻視については、怖がる不安がる様子がなければ、一旦幻視について受容し、安心してもらうといった対応が適切。もし幻視に対して不安があるようであれば、薬剤の検討も可能であるため、近くのDSTメンバーへ声をかけよう。

## MMSE\JHDS-Rにて結局なごべ。

MMSEは1974年にフォロスタインらが開発した認知機能検査であり、一般的な認知機能を測ることができる。30点満点で、24点未満の場合、認知機能が低下している可能性がある。世界標準の検査であるため、臨床的有用性が高い検査である。

JHDS-Rは1974年に長谷川和夫らが開発した認知機能検査である。こちらにも一般的な認知機能を測ることができ、日本では広く使われている。こちらにも30点満点で、21点未満の場合、認知機能が低下している可能性がある。MMSEと異なる点としては、記憶力を測る項目の配点が多いため、記憶力の低下を敏感に汲み取ることが出来る。さらに、字を書く、図形を描くといった項目がないため、目玉のほうで検査結果が教育歴によって左右されにくい。

また、これらの検査結果は、点数が低いから認知症」と言い切れるものではない。